

人財戦略

対象となるBridgestone E8 Commitment

Empowerment

人的創造性向上

全ての企業活動の基盤となる人財については、人的創造性向上— 事業戦略と連動した人財戦略を強化していきます。

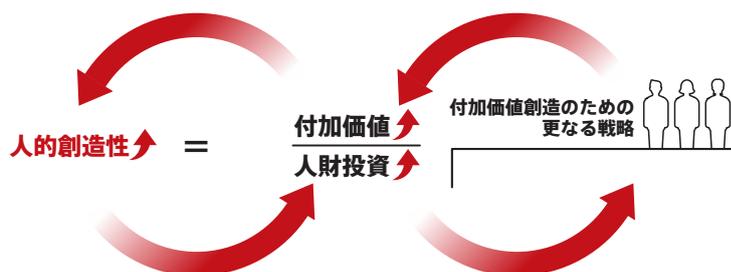
当社グループは事業戦略と連動した付加価値創造により、企業価値向上を図ると共に個人の成功・自信の波及を通じて、多様な人財が輝けるようになることを人財戦略の軸としています。レジリエントなエクセレントブリヂストンへ変革するためには、その原動力である「人財」一人ひとりの「人的創造性」の向上が不可欠です。人財投資を強化し、付加価値を上げる、この価値創造の好循環を生むことが必要であり、その取り組みを表す指標として、「人的創造性」を、グローバル経営指標として、中期事業計画(2024-2026)からの導入を見据え、2023年から試行していきます。

》当社グループにおける人財育成方針

当社グループは事業戦略と連動した人財戦略に基づく人財育成を推進しています。2030年 長期戦略アスピレーション(実現したい姿)で掲げている、「常態化する変化に動ぜず、ゴムのようになやかに変化をチャンスに変えるレジリエントな“エクセレント”ブリヂストン」への変革には、当社のDNAである「品質へのこだわり」、「現物現場」、「お客様の困りごとに寄り添う」、「挑戦」が不可欠であると考えています。会社の成長と従業員一人ひとりの成長の実現が両輪をなすものであるよう、成長を支える様々な取り組みを加速させています。

各地域においてエンゲージメントサーベイを実施する中で、「品質志向」は当社グループ共通の強みとして表れており、今後も当社の事業戦略の基盤として更に、「品質へのこだわり」を育てる施策を充実させていきます。

「現物現場」に関しては、特に日本において、各業務における現場での挑戦を後押しする「現場100日チャレンジプログラム」を通じ、意識と実行力の強化を進めています。また、「お客様の困りごとに寄り添う」をより強化し、ソリューション事業の強化・拡大を実現するため、多様化する社会やお客様に共感し、課題を解決することが出来る人財を育成しています。その為、社内においてもDE&Iを推進し、多様な人財が輝けるよう取り組みを進めています。具体的には、多様な価値観を尊重し、組織としての意思決定の多様化を進めるべく、女性リーダーの育成・登用促進にますます注力するとともに、日本では高度な専門性を有した人財の中途採用およびリテンションの強化などを進めています。「挑戦」に関しては、特に探索事業であるソフトロボティクス事業において、他社との共創に加え、新たに社内ベンチャー「ソフトロボティクス ベンチャーズ」を立ち上げました。新しい事業をゼロから創り出したいという起業家精神を持った多様な人財が集結、早期の事業化に「挑戦」しています。デジタル領域に関しては、グローバルで高度デジタル人財の育成・獲得を図るとともに、日本では幅広いレベルをカバーした「デジタル100日研修」を導入しています。経営人財の育成に関しては、次世代経営リーダー育成を目的とした「Bridgestone NEXT100」を通じて、グローバルで毎年約100人を選抜し、各グローバルコミッティーへの参画、海外ビジネススクール研修への参加などを通じた重点育成も進めています。



基本フォーミュラ

人的創造性 ↑ = 調整後営業利益 ↑ / 人財投資 ↑

(労務費 + 教育訓練費 + 福利厚生費)

》当社グループの人財に関する社内環境整備方針

当社グループは、多様な人財の活躍こそが「Bridgestone E8 Commitment」に表される価値の創出につながるという考えの下、従業員一人ひとりが活躍できる職場環境を整備しています。Bridgestone E8 Commitmentと連動したグローバルカルチャーチェンジを推進するうえで、従業員エンゲージメントの向上を重要課題のひとつと位置付け、各地域でのエンゲージメントサーベイを通じてモニタリングを行い、各地域の事例を共有し合う取り組みを始めています。また、2023年からはグローバル統一のエンゲージメントサーベイを予定しており、各地域の文化、特性の違いを尊重しながらも、共通の軸をもって、取り組みを深化させていきます。特に日本

においては、新任基幹職研修や入社時研修において創業の地である久留米へ訪問するプログラムを導入し、創業者の思いやDNA、企業理念を一層体感できるような機会を提供していることが挙げられます。また、同じく日本では、多様な人財の活躍基盤を整備するため、全管理職を対象としたDE&Iマネジメントワークショップの実施や、女性特有の健康課題をテクノロジーを活用し解決するフェムテック活用支援など、プリチストンらしい取り組みを様々な形で進めています。生産現場においても、現場最前線の声を反映した即効性のある投資を実施し、福利厚生の実質化、職場環境改善、労働負荷軽減策に取り組んでいます。

□□ 地域別のDE&Iの取り組みは、P.79～80をご覧ください

ソフトロボティクス事業

ソフトロボティクス事業は、プリチストンのDNA「お客様の困りごとに寄り添う」「挑戦」をベースに、「ゴムで力ですべての人の生活を支える」ことに挑戦しています。タイヤやホースの開発・生産におけるノウハウを活かし、ゴム人工筋肉(ラバークチュエーター)を用いたヒトと協働することができる柔らかいロボット - ソフトロボティクスの事業化を、外部パートナーとの共創をベースに進めています。このゴム人工筋肉の柔軟性、耐衝撃性、軽量・高出力といった特徴を活かして開発した、ソフトロボットハンドのコンセプトモデル「Dialogue」が、「iF International Forum Design GmbH」が主催する国際的に権威あるデザイン賞「iFデザインアワード2023」の最高賞「iFゴールドアワード」を受賞しました。「iFデザインアワード」は、毎年全世界の工業製品を対象

に優れたデザインを選出しており、2023年は世界56の国と地域から約11,000件の応募の中から、わずか75件が最高賞である「iFゴールドアワード」に選出されました。



資本業務提携先のアセントロボティクス株式会社とソフトロボティクス ベンチャーズの創業メンバー



ソフトロボティクス ベンチャーズでは、人と寄り添うやわらかいロボットが切り拓く、新しい景色を創造するため、社員一丸となって挑戦の場づくりを続けています。挑戦を厭わない個性豊かなメンバーと、ソフトロボティクス技術に魅了され、2022年に中途入社しました。ゴムの力ですべての人の生活を支えるため、様々な挑戦を続け、新たな視点でロボットの可能性を広げたいと考えています。

手塚 晶子

ソフトロボティクス ベンチャーズ
ソフトロボティクス事業推進課